

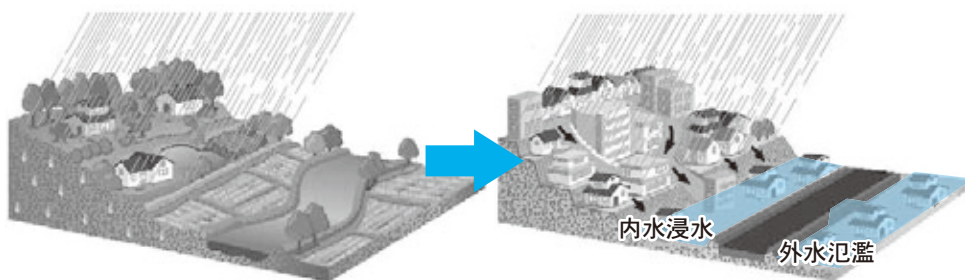
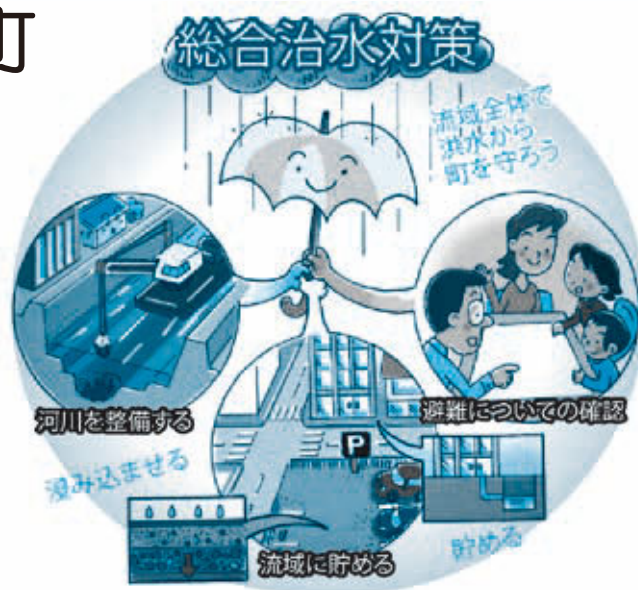
流す・貯める・しみ込ませる・安全に避難する 大雨から守ろう大切な町

●進む開発と高まる浸水被害の危険性

山林や田畑などには、雨水を一時的に貯めたり、地下に浸透させたりする機能があり、河川への雨水の流出量を抑える働きをしています。

しかし、今日では開発が進み、地表面がコンクリートやアスファルトに覆われ、河川へ短い時間で多くの雨水が入ってくるようになったために、洪水の危険性が増しています。また、河川に入りきれない雨水により、低い土地での浸水被害の危険性も増しています。

このため、山林や田畑を適正に保全していくことや雨水を貯めたり地下にしみ込ませたりする雨水貯留浸透施設の設置が、河川や下水道などの整備と併せて非常に重要です。



●雨水の貯留および地下に浸透させる施設

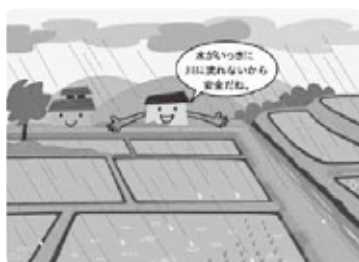
皆さんの協力により、浸水被害が軽減できます。新たに住宅を建てたり、駐車場を整備したりする場合、浸透ます、透水性舗装、浸透トレンチなどの雨水流出抑制施設の設置にご協力ください。

地域の皆さんへのお願い



新たに下水道に接続する時は、家庭の浄化槽を雨水貯留浸透施設へ転用しましょう。

田や畑には雨水を貯めて浸水被害を抑える働きがあるので積極的に保全していきましょう。



ビジュアルボードフェア

総合治水を皆さんに理解していただくために、図や写真を用いてパネル展示を行います。

とき 7月24日(金)～30日(木)
午前9時～午後6時

ところ 中央図書館

●問い合わせ

- ・土木課 内線275
- ・新川・境川流域

総合治水対策協議会ホームページ
<http://www.sougo-chisui.jp/>